

平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立伏虎義務教育学校
校長氏名	林 素秀
作成日	平成30年（2018年） 2月 27日

1 教育目標

心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成

2 本年度の取組についての評価

	心豊かで、思いやりのある 優しい子供	進んで学び、しっかり 考える子供	健やかに、たくましく 生きる元気な子供
重点 目標 【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○体験活動の充実 ○道徳教育・人権同和教育の充実 ○自主的・実践的活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力の向上 ○言語活動（ことばの力）の充実 ○「わかやま創造科」の創設 ○外国語教育の充実 ○理数教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の充実 ○健康安全教育の推進 ○キャリア教育・進路指導の充実 ○地域行事やボランティア活動への参加

取組 の 状 況 【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足や校外学習において、自然や文化、地域の伝統に触れる体験活動を行った。 ・入学式、写生会、スポーツテスト、運動会等では、学年の枠を超え交流が行われた。 ・人権をテーマに土曜参観授業を行い、人権意識の向上を図った。 ・全校一斉の朝掃除を行った。 ・5年生以上の全児童生徒が参加する委員会活動を行った ・部活動については、5・6年生を対象に体験活動できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究については、「わかやま創造科」「外国語教育」「理数教育」3部会を設け、全教員がいずれかの部会に所属し、それぞれで研究授業と協議を行った。 ・1月26日に公開授業発表会を開催した。 ・1年生から、外国語教育を始め、前期の「伏虎タイム」にモジュール学習を取り入れた。 ・算数・数学科において、Ⅱ期にTT指導を導入した。 ・電子黒板等ICT機器の活用を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援や配慮の必要な子供について、教職員間の情報共有を進めるための基礎資料を作成した。 ・保健室だよりの発行、保健委員会活動を通じて、健康についての意識向上に取り組んだ。 ・「食」に関わる掲示や通信、ランチルームでの交流給食を行った。 ・「わかやまキャリアガイダンス」（8年）を開催し、地域の様々な職業人からお話を伺った。 ・児童生徒会にボランティア委員会を作った。
（評価結果） 【C】 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちは、体験活動に積極的に参加できた。またその学びを、学習発表会等の場での発信につなげることもできた。 ・自分でめあてを持ち、仲間と力を合わせて掃除ができるように児童生徒の力を高めていく必要がある。 ・いじめ防止のために、道徳教育の充実、学級での仲間づくり等に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業、研究協議によって、教員が学びを深め、授業改善につなげることができた。 ・外国語を楽しむ子供を増やすことができた。 ・算数・数学科のⅡ期でTT指導を行うことにより、後期課程への滑らかな接続と支援の必要な子供へのサポートの充実を図ることができた。 ・電子黒板等を活用する授業が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員で、支援や配慮の必要な子供の課題を共通理解することができた。 ・心と身体の健康に対する児童生徒の意識を高めることができた。 ・学年の児童が、給食の時間に楽しく交流することができた。 ・仕事や職業に対する意識を高め、キャリア発達を促進することができた。 ・募金活動等に取り組んだ。また、本町公園でのボランティア清掃を行った。
改善方法 【A】 の	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間を見通した体験活動ができるように、特別活動の年間計画を見直す。 ・清掃活動について考える学級会や集会を行う。 ・人権同和教育の特設授業や道徳、特別活動の中で、いじめ問題にさらに取り組む。道徳の教科化にあわせ、保護者の意見も取り入れながら指導計画を充実させる。 ・情報モラルに対する意識をさらに高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3部会の協議内容が、全体のものになるように教員の所属、年間計画の内容を見直し、授業研究を充実させる。 ・主体的で対話的な、深い学びの実現に向け、本校としての「学び合い」のスタイルを研究、実践する。 ・図書ボランティアの力を借りて、図書室を整備し、読書環境の充実に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SCや関係機関と連携し、ケース会議を行うことで、子供を支援する方策を充実する。 ・体力の課題について、教職員間で情報共有を進める。 ・給食を通じて、食育に対する意識をさらに高める。 ・キャリア教育に、アクティブラーニングを取り入れ、自ら問い、自ら考える子供を育成する。

3 その他の課題

・4、3、2制の各期の指導目標の達成に向けた取り組みを具体化する。各期のリーダー学年の活動を充実させる。